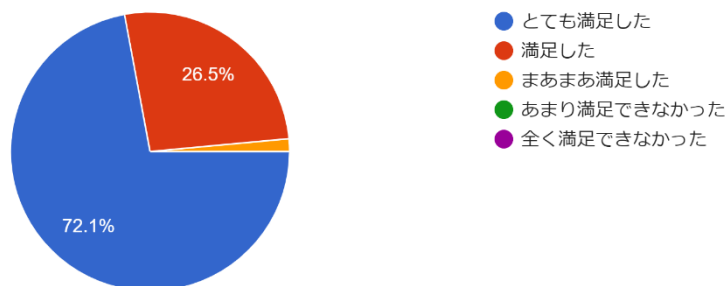


第1回プラスチック削減オンライン連続セミナーアンケート結果

本日のセミナーの満足度を5段階からお選びください

68件の回答



本セミナーで最も印象に残った事

1	小魚から人までのサイクルが恐くなった 海上ゴミ 誰もが被害者であり加害者である
2	荒川の状況を見て
3	環境ホルモンの影響
4	埋め立てから出る液体の中に高濃度の有害物質が検出されること
5	リサイクルという言葉の誤用・誤解。脱焼却にむける日常用品の脱プラスチックなど。
6	質疑応答の内容です。
7	プラスチックの問題が、海洋汚染や人体への影響だけでなく、温暖化にもつながるとい う視点
8	リサイクルをした場合の一番の問題点は添加剤の存在であることを改めて知ることがで きたことはよかったです。
9	プラスチック化学物質への暴露増加が免疫力の低下と関連していること
10	プラ問題の根深さ、深刻さ、それを多くの行政・市民がまだ理解できていないこと
11	判りやすかった。
12	資料・レジュメが頂けなかったのが残念。横文字の意味を調べる時間がない、調べたり していると、追いつかないことがあった。
13	プラスチックに含まれる添加素材、化学物質の有害性
14	拡大生産者責任を問うことが大事だという点
15	海洋汚染、クジラや渡り鳥等の生き物への影響
16	環境汚染の問題だけでなく温暖化の問題でもある。

17	<p>全て勉強になりました。特にごみ焼却場の問題は、理屈と現実の間でとても難しい問題だと思えます。「日本はきちんと償却しているからレジ袋を規制する必要はない」という意見を持っている人もいて、それは違うんだよ、と伝えていかなければならないと思いました。</p>
18	<p>プラスチックは安いという錯覚</p>
19	<p>プラスチックの処理の困難さと拡大生産者責任が必要ということ。</p>
20	<p>代替プラスチックが解決策ではないこと。 要望ですが、本日のプレゼン資料を DL 入手できるようにしていただきたく、よろしく お願いします。</p>
21	<p>粒子毒性のお話の中で示された多摩川の MP 濃度の説明 (300 μm以下の微粒子多数)</p>
22	<p>今まさに深刻な事態になりつつある地球温暖化にもっと政府、経済界、消費者が危機感 をもって取り組まなければいけない、拡大生産者責任を消費者製造者に徹底させたいと再 確認した 3R 全国ネットワーク頑張ろう！</p>
23	<p>①様々な天然素材をプラスチックに置き換え、50年を経て、プラスチック問題が顕在 化したこと。②食物連鎖を通じて、汚染が生態系全般に広がっていること。③隅田川の 表層水の MP 濃度が粒子毒性が問題になるレベルになっていること④3Rのうち、 reduce (削減)が最も重要という所など、数多くのことが、心に響いた。→「すでに 海洋に広がっているプラスチックの回収するためには、どうしたらいいのか」も聞きた かった。良いセミナーを企画下さり、大変勉強になりました。ありがとうございました。 次回も期待しています。</p>
24	<p>海洋汚染問題でもあり温暖化問題でもある。とても興味深く聞きました。 問題の再認識ができたと思います。ありがとうございました。</p>
25	<p>セミナーがプラスチックごみ、マイクロプラスチックを中心に脱炭素社会、カーボンニ ュートラルを含めた視点で語られていたことで全体像、問題の重要性が更によく判りま した。 また、多岐にわたる数多くの質問にも最近の学術情報を含めての解説は大変勉強になり ました。有り難うございました。</p>
26	<p>プラ問題が、海洋汚染と温暖化の二つが問題と頭の整理ができた</p>
27	<p>具体的な提案もあったところ</p>
28	<p>具体的な提案もあったところ</p>

29	<p>少しも聞き逃せない全編素晴らしいお話でしたので、特にととなると難しいですが、、、 プラごみを燃やすのは石油を燃やしているのと同じ、というのが目から鱗でした。 それから人から突っ込まれて上手く返せなかったマイクロプラスチックの諸々の疑問に これからは答えられる！と思えたこと。 また私たちがずっと主張してきた3Rの優先順位をしっかりと言葉にしてくださったこ と。 などなど、もう一度聴きたい、資料を見たい、たくさんの人に聞いてほしい内容でいっ ぱいでした。 それでもどうしても必要なプラスチックを減らせるようにするためにも、不必要なプラス チックを減らさなければと、高田先生のお話を聞いて改めて強く思いました。個人だけ でなく社会全体に働きかけていければと思います。高田先生、そして企画してくださっ た皆様、ありがとうございました。</p>
30	<p>海中のマイクロプラスチックの測定方法が進化しており、そのためにより微小のプラス チックの影響も評価できるようになったというところ。どんどん新しい情報も得られる ようになり、結果として社会に訴える根拠も明確にできるのかな、と思いました。</p>
31	<p>サーマルリサイクルは結局は国民負担が重くなるということがすんなり納得できまし た。</p>
32	<p>プラスチックの化学物質問題</p>
33	<p>プラスチックが免疫力低下を招く事やプラスチックが安いという錯覚等々印象深い事が 目白押しの講演でした。是非とも小職の団体へフィードバックしたい旨、プレゼンファ イルの提供をお願いする次第です。（滋賀県草津市ごみ問題を考える市民会議広報委 員）</p>
34	<p>プラスチックの有害性</p>
35	<p>プラスチックの使用は、処分までの経費を考えると決して安いものではないことと知 った点</p>
36	<p>プラスチック問題の全体が理解できました。大変わかりやすく講演していただきありが とうございます。 すぐに自分も行動を変えなければという気持ちになりました。 セミナーの時間はもう少し短い方がありがたく思います。 本日はありがとうございました。</p>
37	<p>プラスチック製品の処分の難しさ、脅威が分かりました。消費者として、何を選び生活 していくか、参考になりました。また、作る側の責任としての方向転換を強く望みま す。</p>
38	<p>プラ問題が免疫力低下に繋がること。熱回収に未来が無いこと。</p>

39	海洋プラスチック汚染の問題は汚染問題であると同時に温暖化の問題でもあることが最も印象に残りました。また、他にも印象に残ったことが多く、今回のセミナーに参加できて良かったです。ありがとうございました。
40	「プラスチックは安いという錯覚」
41	TV やインターネットの記事などでマイクロプラスチック問題を取り上げる時、プラゴミを減らそう、無くそうということばかり取り上げられがちですが、プラ製品に頼らない生活に戻すことも大切だと改めて気づかせていただきました。大変勉強になりました、ありがとうございました。
42	ごみ焼却場が当初は暫定対応であったにも関わらず、現在は暫定でなくなったという現実。
43	今までも言われていましたが、合成繊維がマイクロプラスチックの多くを占めていると言うこと。プラごみ削減の活動をしている方も衣類の100%を天然繊維にするのは難しいかと思います。また、加工食品の殆どが容器包装プラに入っていてこれも100%なくすのは難しい。毎日の生活の中で、何とか1つずつ減らしていかなければと、先生のお話を伺って、 思いを強くしました。ありがとうございました。
44	マイクロプラスチックその物が直接影響を及ぼすのではなく（もちろん魚や海鳥などには直接的な影響もあるが）消化液で消化され肝臓に取り込まれた物を人が食べて人体に影響が出、免疫力低下として現れる。この図式！
45	改めて海のプラごみの問題の大きさを思い知らされました。
46	プラスチック問題は以前より気になっていましたが、今日のお話で問題点が整理できたように思います¥ ダイオキシンと「沈黙の春」に関する課題が少しも解決されていないことがよくわかりました。むしろ、問題は広がっていることがよくわかりました¥ プラスチック生産者及び利用者に処分費用を負担してもらうことは賛成です。
47	マイクロプラスチックが、回り回って人のカラダに影響を及ぼしていること。 やはり、使用することをできるだけ減らすことが一番だということ。 教えて頂いてみるとあたり前なことかもしれないと思いましたが、プラスチック製品には、様々な添加物が使用されているということ。
48	使い捨てプラの使用削減を・・・リサイクルではなく、蛇口をしめること
49	高田先生のお話が回を重ねるごとに深く広くなって行っていること。勉強になりました。

50	<p>「埋立地からの進出水の中に、プラスチック製品由来の有害な合成化学物質が高濃度に存在することから、うめたては不可。リサイクルは出来ても、分子の劣化で永遠には出来ず不可。ダイオキシンが出来ない高温の焼却炉（建設費100億円、年間維持費2億円）での焼却も温暖化防止の観点からは不可。プラスチックの使用を削減し、防護服や医療関係のプラなどどうしても必要なものだけをバイオマス原料のものにすべき。」との先生の主張に納得が行きました。私たちも自分から、まわりに少しずつ広げてはおりますが、政府は総理大臣表彰までした先生の主張を採り入れて、しっかりしたプラスチック対策を早急に打ち出し、自治体、企業、国民の協力を得るようするべきです。</p>
51	<p>①プラに含まれる化学物質の人体への影響について以前よりかなり踏み込んだ見解を示されたこと。</p> <p>②プラの代替素材として、バイオマスプラや生分解性プラを無条件に認めておられること。</p> <p>バイオマスプラは、カーボンニュートラルなので、焼却してもCO₂を発生しないとされています。しかし、現実には焼却しなければCO₂を発生しないが、焼却すればCO₂を増やします。</p> <p>また、海に入った生分解性プラは、短期間に分解するわけではないので、海ごみになる上に、分解すれば製品に含まれる化学物質によって海を汚染します。</p> <p>国連環境計画も、2020年6月に発表した報告書で、バイオプラの環境負荷軽減効果について否定的な見方をしているようです。</p> <p>バイオプラは、再生可能資源が原料とはいえ、環境への影響は石油系プラと変わらないので、使い捨て製品には使うべきではないと思います。</p>
52	<p>こげ落ち君を買って来たばかり、なのにとっても環境に悪い、と聞いて困ってます。</p>
53	<p>やはりプラスチックを使わないようにし減らすことを痛感。</p> <p>スーパーだけでなく、直売所でも野菜をはじめ食料品を買うと必ずお家に持ち込んでしまうのがつらいです。生産者さんも減らせるものはなしあるいはコンパクトにお願いしたいです。</p> <p>このお話を義務教育に取り入れて欲しいです！もちろん終えた大人にも～。</p>

54	マイクロプラスチックが、回り回って人のカラダに影響を及ぼしていること。 やはり、使用することをできるだけ減らすことが一番だということ。 教えて頂いてみるとあたり前なことかもしれないと思いましたが、プラスチック製品には、様々な添加物が使用されているということ。
55	高田先生のプラスチック問題への強い思いが感じることができました。
56	生体濃縮の話。
57	プラスチック製品にもともと含まれる内分泌かく乱物質に関する話
58	私の印象が強かったことは、「誰もが被害者、誰もが加害者」ということでした。子どもころは、ジュースもビンでした。お醤油も。お豆腐は近くのお店にボールを持って買いに行く母の姿がありました。便利なことがすべて悪いとは思いませんが、私たちは思いやり、譲りあうこと、ものを大切にすること、無くしてしまったもの、大切にできていないものがたくさんあると感じます。自分の生活を見直すことはもちろんですが、運動も必要だと思えますので引き続きすすめていきたいと思えます。せっけん1つにしても、合成洗剤でないだけでなく、液体せっけんの流通を考えると、すぐ固型か粉せっけんがいいこと、そんなことを1つ1つ伝えたいと思いました。少し不便でも誰にもやさしい暮らし方をし、広げたいと思いました。
59	誰もが被害者であり、加害者であるということ
60	プラスチックごみが海洋生物に及ぼしている影響を写真でリアルに感じられた
61	プラスチックに含まれる有害化学物質、特に環境ホルモンの危険性

本日のセミナーの難易度を5段階からお選びください

68件の回答

